

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	教科教育法（社会）						授業形態		講義	
科目コード	750091	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員		○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	安藤 重則								ICT活用	
授業概要	小学校において、社会科教育を担当する教諭等を目指す受講生が、将来、必要となる基礎的な知識や授業構成力、授業実践力等を身に付けることを目的とする。そのために、まず、現行小学校学習指導要領解説社会編を基に、小学校社会科の目標や内容を理解し、小学校社会科において育成を目指す資質や能力を押さえる。次に、それらの力を育成するために学習過程として問題解決的な学習を取り上げる。具体的な実践例を取り上げて、宮崎県が行っている「ひなたの学び」との関連性にも触れるようにする。さらに、見学や調査、表現活動などの体験的な活動の在り方も取り上げて、総合的な学習の時間との類似点や相違点も明らかにしながら教育現場で役立つ基礎的な知識や実践力が培えるようにする。最後に評価の在り方について、基本的な評価方法と活かし方を具体的な実践事例を紹介しながら教育現場で活かせるようにする。									
関連する科目	社会（選択）									
授業の進め方 と方法	受講者に、児童が社会科を楽しみにしていることや社会科の学習が好きであることをアンケートや意見などを紹介しながら伝え、社会科のおもしろさや楽しさ、さらに生活で役立つなどの観点から講義を進めていきたい。そのために、社会科教育が目指すものや社会科教育を進めていく上での基本となる事項を学習指導要領で示されている目標や内容、配慮事項が具体的な授業場面ではどのようなことなのか、実践例を紹介しながら分かりやすく紹介する。また、インプットされた講義内容がアウトプットされるように、グループワークや模擬授業づくりを行うようにする。そのなかで、授業構成や授業の進め方、発問と指示の違い、ICTをはじめとする情報活用、板書の仕方などの事項について触れるようにする。これらの内容を通して、小学校社会科教育への理解と学びの成果を実感できるようにして、教員採用試験に向けて取り組むべき事項についても考えながら目指す目標に向けて意欲と自信がもてるようにする。									
授業計画 【第1回】	第1回：オリエンテーション 15回の講義内容の説明とともに、小学校社会科授業の具体的な実践例の紹介や児童の反応などをとおして、社会科授業の楽しさに触れ、本講義への意欲が高まるようにします。									
授業計画 【第2回】	第2回：小学校社会科教育が歩んできた歴史について、その変遷を解説します。そして、現行小学校学習指導要領解説社会編を基に、社会科教育が目指すものについて、解説編「第1章総説」や「社会科の目標及び内容」から具体的実践例を紹介しながら解説します。									
授業計画 【第3回】	第3回：小学校学習指導要領解説社会編を基に、第3学年から第6学年までに扱う内容について児童の発達段階から解説します。また、生活科や総合的な学習の時間と社会科学学習の関わりについて解説します。									
授業計画 【第4回】	第4回：社会的な見方・考え方を育てるための問題解決的な学習過程について解説します。									
授業計画 【第5回】	第5回：宮崎県教育委員会が推奨する「ひなたの学び」について、問題解決的な学習過程との関連から解説します。									
授業計画 【第6回】	第6回：社会科見学や調査活動、調べたことをまとめる表現活動などの体験的な活動の方法や意義について、具体的な実践例を基に解説します。									
授業計画 【第7回】	第7回：評価について、評価方法と活用を児童の学びと授業改善の視点から解説します。									
授業計画 【第8回】	第8回：授業を支える要素の一つとして重要な学級経営について、具体的な実践例を紹介しながら解説します。									
授業計画 【第9回】	第9回：社会科の授業づくりについて、児童理解や教材研究、授業構成、発問・指示、板書計画、評価などの要素から解説します。また、タブレットなどを使った情報活用の在り方と注意事項についても解説します。									
授業計画 【第10回】	第10回：学習指導案について、その意義や作成の仕方について解説します。									

授業計画 【第11回】	第11回：模擬授業用の学習指導案（略案）づくりをグループで行います。
授業計画 【第12回】	第12回：模擬授業をグループ代表者が行って、授業内容や進め方等についてディスカッションします。
授業計画 【第13回】	第13回：前回のグループでの模擬授業を経て改善した授業を他のグループと相互に見合せて、互いの授業の在り方についてディスカッションします。
授業計画 【第14回】	第14回：指導技術の一つとして、教師のパフォーマンス力を取り上げて、それらを身に付けていくために学生時代から取り組む内容を紹介します。
授業計画 【第15回】	第15回：まとめ これまでの授業内容を整理して、社会科教育が目指すものや授業づくりのポイントを再確認しながら授業づくりの基礎が押さえられようにします。
授業の到達目標	1 社会科教育の変遷を理解し、現行学習指導要領に示された小学校社会科教育の目標及び内容を理解することができる。 2 社会的な見方や考え方を育てるための問題解決的な学習過程について理解して、授業づくりのために必要な実態把握や指導内容、授業構成、発問・指示、教材づくり、パフォーマンス力等について、講義や模擬授業を通して体験的に学ぶことができる。 3 社会科学習の現状を理解し、授業づくりのために社会的事象に関心をもって生活したり、自ら社会的な体験活動に参加したりする意欲をもつことができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	・小学校学習指導要領解説社会編の熟読 ・模擬授業のための準備
授業時間外学習【復習】	・講義で得た知識や協議した内容の整理 ・模擬授業づくりや模擬授業後のディスカッションの成果と課題
課題に対する フィードバック	・講義で得た知識や協議した内容の整理 ・模擬授業づくりや模擬授業後のディスカッションの成果と課題
評価方法・基準	・課題に対するレポートを評価する。30％ ・授業づくりや模擬授業への取組を評価する。20％ ・テストで評価する。50％
テキスト	・小学校学習指導要領解説社会編（文部科学省）個人購入
参考書	・適宜紹介
備考	・本講義に主体的に取り組めるように、学生同士のグループ協議や担当者も交えた集団討論の場を多く設定するようにする。 ・担当者は、小学校及び中学校で社会科教育に関わった経験者である。